

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6



型式：YY2088C/ YY2092C

スマートフォンにアプリをインストールして、アプリの案内にしたがって本機のセットアップをしましょう



すべての機能と改善された性能をご活用いただくために、本機のソフトウェアや“Sony | BRAVIA Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。

HT-B600/ HT-BD60

本機の使いかた／各部の名称

[本機を使うために必要なアプリについて](#)[ヘルプガイドの説明について](#)

各部の名称とはたらき

[本機のシステム構成とつながる機器](#)[バースピーカー](#)[サブウーファー](#)[バースピーカーのランプ表示](#)

[サブウーファースのランプ表示](#)

[付属リモコン](#)

[アプリのリモコン画面](#)

初期設定をする

[同梱品を確認する](#)

本機を設置する

[バースピーカーとサブウーファースを設置する](#)

[本機をテレビ台や棚に設置する](#)

[バースピーカーを壁に取り付ける](#)

[テレビとつなぐ](#)

[電源につなぐ](#)

[“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)

[バースピーカーとサブウーファースが正しくつながらないときは](#)

音楽／音声を再生する

[テレビの音声を聞く](#)

[音質を調整する](#)

BLUETOOTH®機能で音楽／音声を聞く

[BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBLUETOOTH機器の音楽を聞く](#)

[BLUETOOTH機能のオン／オフを設定する](#)

テレビと連携して使う

[テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)

[“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する](#)

アプリから本機の設定を変更する

[\[ワイヤレススピーカー設定\]](#)

[\[サウンド設定\]](#)

[\[HDMI設定\]](#)

[\[Bluetooth設定\]](#)

[\[本体設定\]](#)

[\[かんたん初期設定\]](#)

[スタンバイ時の消費電力を抑える](#)

[ソフトウェアをアップデートする](#)

困ったときは

[困ったときにすること](#)

[サポートページで調べる](#)

[初期化する](#)

その他

[主な仕様](#)

[対応する音声フォーマット](#)

[商標について](#)

[ライセンスについて](#)

[ご注意](#)

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

本機を使うために必要なアプリについて

本機の初期設定、操作や詳細設定には“Sony | BRAVIA Connect”アプリをインストールしたスマートフォンを使用します。

スマートフォンに“Sony | BRAVIA Connect”アプリをインストールしてください。



アプリを使うと、以下のような操作や設定を行うことができます。

- 本機の初期設定をする
- 本機の音量調節や入力切り換えなどの操作をする
- 本機の設定をお好みのものに変更する
- サポート情報や最新のアップデート情報を見る

付属リモコンではコンテンツ視聴時によく使用する操作や設定のみ行うことができます。

関連項目

- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)

TP1001683759

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ヘルプガイドの説明について

操作の説明について

このヘルプガイドでは、下記を前提として操作を説明しています。

- 本機と“Sony | BRAVIA Connect”アプリの両方が最新バージョンのソフトウェアである
- 本機とeARCまたはARC対応のテレビをHDMIケーブルでつないでいる、かつ、本機とテレビのHDMI機器制御機能が有効になっている
- “Sony | BRAVIA Connect”アプリの画面にしたがって、本機とテレビ（*）のセットアップを完了している
 - * アプリに対応したブラビアをお使いの場合は、本機とブラビアの両方をアプリのリモコン画面で操作できます。それ以外のテレビをお使いの場合は、本機のみをアプリのリモコン画面で操作できます。

アプリに表示される文言について

- []（カッコ）の中の文字は“Sony | BRAVIA Connect”アプリの画面に表示される文言であることを表しています。

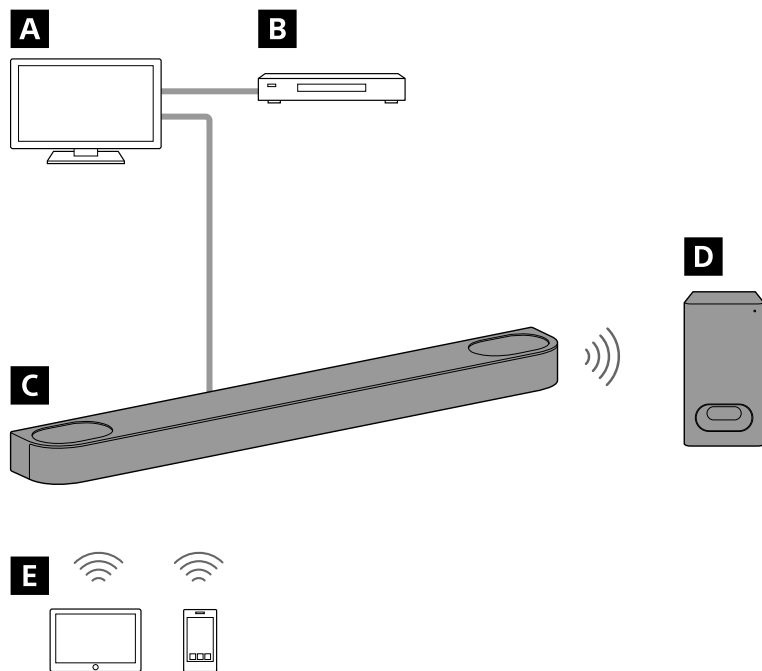
TP1001687614

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

本機のシステム構成とつながる機器

本機はDolby Atmos、DTS:Xなどのオブジェクトオーディオフォーマットに対応しています。



A テレビ

本機とeARCまたはARCに対応したテレビをHDMIケーブルでつなぐと、本機でテレビの音声を再生することができます。

[テレビの音声を聞く](#)

B AV機器（ブルーレイディスク™レコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）

テレビとAV機器、テレビと本機をそれぞれHDMIケーブルでつなぐと、本機でAV機器の音声を再生することができます。

C バースピーカー

本機につないだテレビや、テレビにつないだAV機器の音声を楽しむことができます。

D 付属サブウーファー

バースピーカーとワイヤレスでつながり、バースピーカーにつないだ機器の低域の音声を再生することができます。

E モバイル機器

本機とモバイル機器をBLUETOOTH機能でつなぐと、本機でモバイル機器の音楽を再生することができます。

[BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く](#)

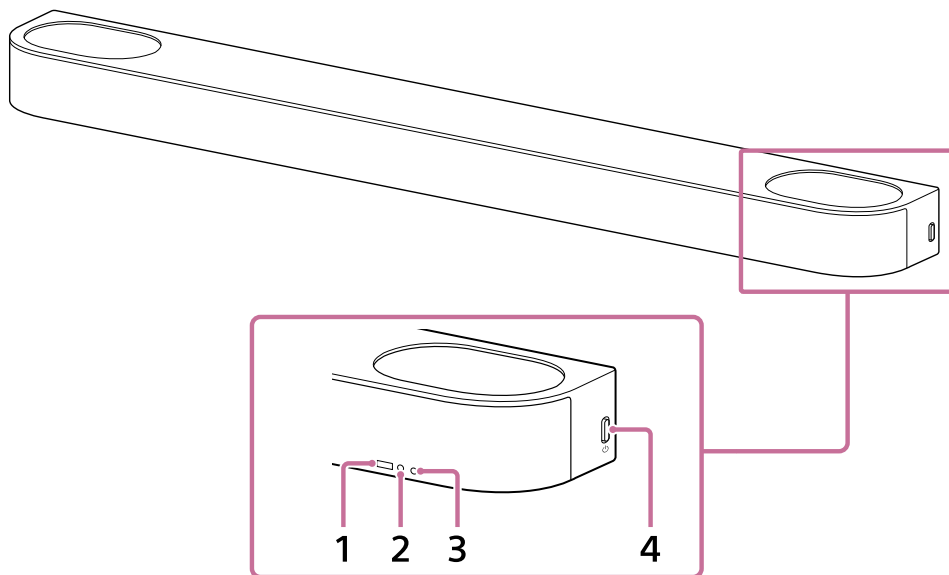
TP1001686286

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ベースピーカー

正面



1. リモコン受光部

付属リモコンをベースピーカーの受光部に向けて操作してください。

2. サブステータスランプ（白色）

ベースピーカーの状態を白色の点灯、点滅で表します。

3. メインステータスランプ（カラー）

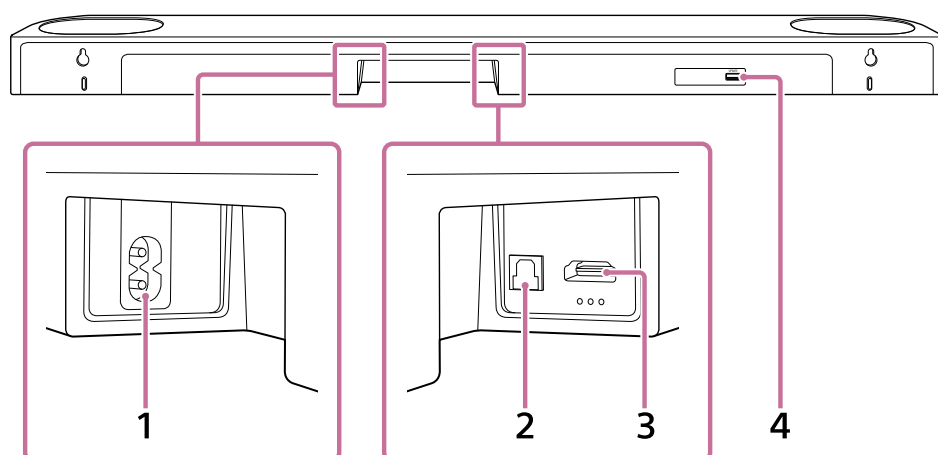
ベースピーカーの状態を3色（白色／青色／赤色）の点灯、点滅で表します。

4. 電源（電源）

ベースピーカーの電源を入れます。ベースピーカーの電源が入っているときに押すと、ベースピーカーがスタンバイ状態になります。

10秒以上押したままにすると、ベースピーカーとサブウーファーを初期化します。

背面



1. AC入力端子

2. TV入力（OPTICAL）端子

テレビとの接続専用のOPTICAL（光デジタル）端子です。

3. HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子

テレビとの接続専用のHDMI端子です。

HDMI入力端子のあるテレビをHDMIケーブルでつなぎます。本機はeARCおよびARCに対応しています。ARCとはHDMIケーブルを通して、テレビの音声をテレビのHDMI端子から本機などのAV機器に送る機能です。eARCはこのARCを拡張したもので、ARCでは伝送できなかったオブジェクトオーディオやマルチチャンネルLPCMの伝送が可能になります。

4. UPDATE（アップデート）端子

ヒント

- HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子の下には、約1 mm（1/16 インチ）の大きさの凸点（突起）が3つ付いています。接続の際は、凸点（突起）を目印としてお使いください。

関連項目

- [バースピーカーのランプ表示](#)
- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)
- [初期化する](#)

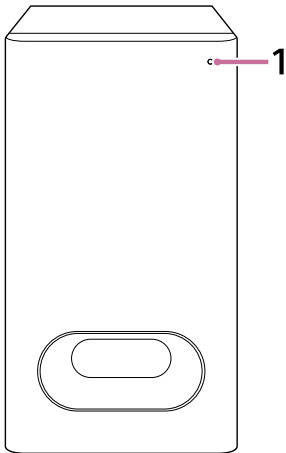
TP1001683743

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

サブウーファー

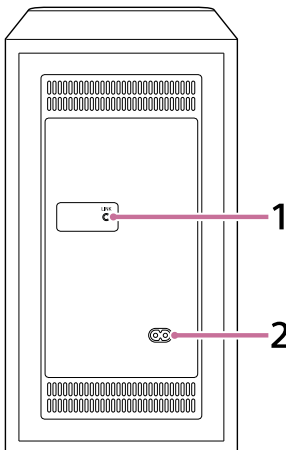
正面



1. 電源ランプ (カラー)

サブウーファーの状態を3色（白色／青色／赤色）の点灯、点滅で表します。

背面



1. LINK (リンク)

- **押す** : “Sony | BRAVIA Connect”アプリでベーススピーカーとサブウーファーが正しくつながらない場合に押します。アプリの案内にしたがって操作してください。
- **2秒以上押してから離す** : サブウーファーの電源を入／切します。
- **10秒以上押したままにする** : サブウーファーを初期化します。

2. AC入力端子

関連項目

- [サブウーファーのランプ表示](#)
- [電源につなぐ](#)

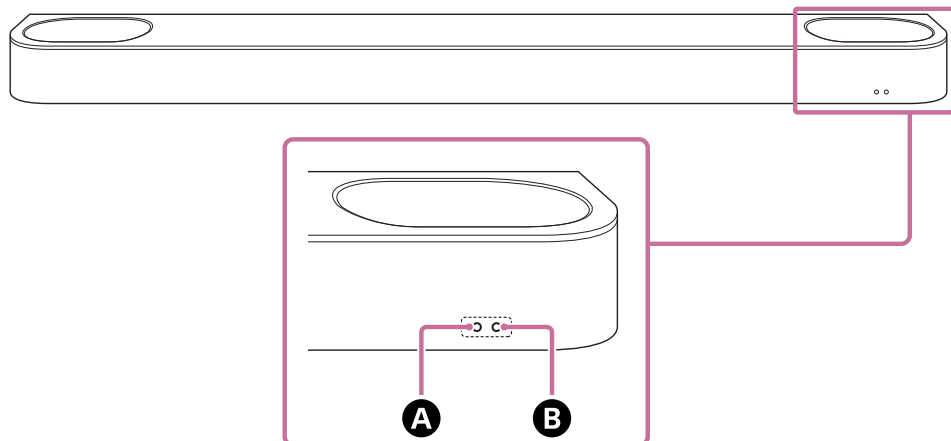
サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

バースピーカーのランプ表示

バースピーカーの状態を表す2つのランプがあります。

左側がサブステータスランプ（白色）、右側がメインステータスランプ（カラー）です。



- A** サブステータスランプ（白色）
- B** メインステータスランプ（カラー）

電源入／切

B メインステータスランプ

-（消灯）
電源が入っていません。
-（白色でゆっくり点滅）
電源の入／切を処理しています。

音声入力／消音

B メインステータスランプ

- （白色で点灯）
テレビ入力選ばれています。
- （青色で点灯）
BLUETOOTH入力が選ばれています。
BLUETOOTH機器がつながれています。
-（青色で2回ずつ点滅）
BLUETOOTH機器登録（ペアリング）待ち状態です。
-（青色で点滅）
BLUETOOTH機器との接続を処理中です。
-（白色で2回点滅）
テレビ入力に切り換え中です。
-（青色で2回点滅）
BLUETOOTH入力に切り換え中です。

-  (白色／青色で交互にゆっくり点滅)
機器の設定中です。

A サブステータスランプ

- ○…………○………… (白色で2秒ごとに点滅)
消音中です。

設定／操作フィードバック

A サブステータスランプ

- ………… (白色で1回長く点灯)
設定がオンに切り換わったことを表します。
- ○・○………… (白色で2回点滅)
設定がオフに切り換わったことを表します。
- ○………… (白色で1回短く点灯)
音量を上げたり、下げたりしたことを表します。
- ………… (白色で3回点滅)
設定変更ができない、音量の上限または下限になっているなど、操作が無効であることを表します。

特殊状態

B メインステータスランプ

- ●・●・●・●・●・●・● (青色で速く点滅)
機器をアプリに登録中です。
-  (白色／青色で交互に点滅)
ソフトウェア書き換え／初期化などの処理中です。
- ………… ………… (赤色で点滅)
異常やエラーが検出されています。「[困ったときにすること](#)」の流れにしたがって対処してください。
- ○…………○………… (白色で2秒ごとに点滅)
アップデートが完了したことを表します。

関連項目

- [困ったときにすること](#)

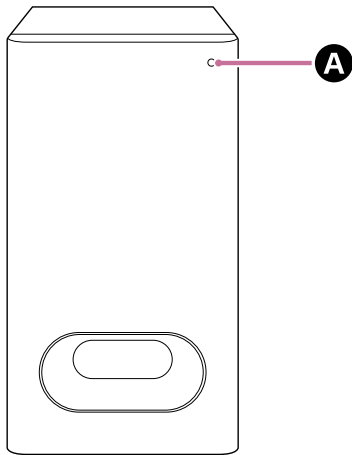
TP1001687608

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

サブウーファーのランプ表示

サブウーファーの状態を表します。



A 電源ランプ（カラー）

電源入／切、バースピーカーとの接続状態

- （白色で点灯）
バースピーカーと接続中です。
- （白色でゆっくり点滅）
バースピーカーとの接続待機中です。
- （白色で2回ずつ点滅）
バースピーカーとの手動接続待機中です。
- （赤色で点灯）
スタンバイ状態です。
-（消灯）
電源が入っていません。

特殊状態

-    （白色／青色で交互に点滅）
ソフトウェア書き換え／初期化などの処理中です。
-  （赤色で点滅）
異常やエラーが検出されています。「[困ったときにすること](#)」の流れにしたがって対処してください。

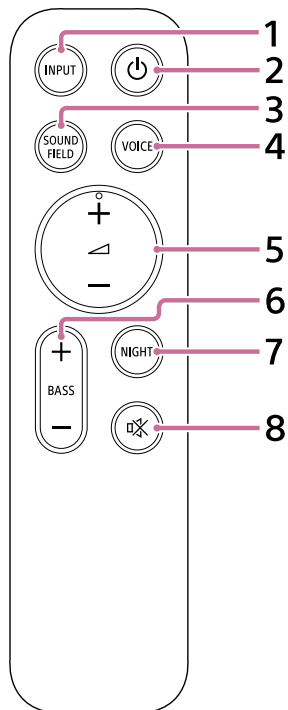
関連項目

- [困ったときにすること](#)

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

付属リモコン



1. INPUT（入力切換）

ボタンを押すと、次の入力に切り換わります。

入力は以下の順で切り換わります。

テレビ ➡ BLUETOOTH ➡ テレビ・・・

2. ㊤（電源）

本機の電源入／スタンバイを切り換えます。

3. SOUND FIELD（サウンドフィールド）

本機のサラウンド効果をオン／オフします。

4. VOICE（ボイスモード）

本機のボイスモードをオン／オフします。

本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいる場合、本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームをオン／オフします。

5. （音量）+（プラス）（*）／-（マイナス）

本機の音量を調節します。

6. BASS（低音レベル）+（プラス）／-（マイナス）

低音の音量を調節します。

7. NIGHT（ナイトモード）

本機のナイトモードをオン／オフします。

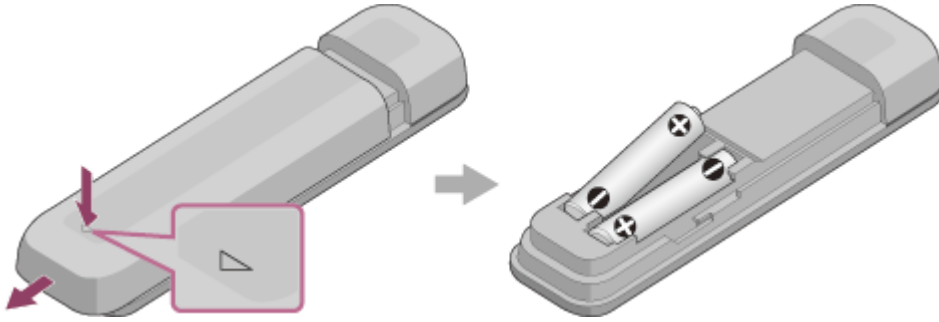
8. （消音）

本機の音を一時的に消します。

* （音量）+（プラス）には、凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

電池交換について

付属リモコンを操作しても本機が反応しないときは、電池を2つとも新しいものに取り換えてください。
単4形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池をお使いください。
電池のふたを外すには、リモコン背面の三角の印を押しながらスライドさせてください。



リモコンが正しく動作しないときは

- リモコンをバースピーカーのリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンとバースピーカーとの間の障害物を取り除いてください。
- 電池の+（プラス）と-（マイナス）が正しい向きで入っているか確認してください。
- 電池が古い場合は、すべての電池を新しいものに取り換えてください。
- リモコンの正しいボタンを押しているか確認してください。

関連項目

- [音質を調整する](#)

TP1001683746

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

アプリのリモコン画面

アプリのリモコン画面には、次の2種類があります。

本機のみ操作できるリモコン画面

アプリに対応していないテレビをHDMIケーブルでつないでいる場合に表示されます。

本機とブラビアを操作できるリモコン画面

アプリに対応しているブラビアをHDMIケーブルでつないでいる場合に表示されます。

本機を操作できる下記の項目が【リモコン】【画質と音質】【音声出力】【設定】に振り分けられて表示されます。ただし、テレビの電源が入っていない場合は、本機のみを操作できるリモコン画面が表示されます。

アプリのリモコン画面の項目

● 再生情報表示／入力切換エリア

画面上部に選択中の入力などが表示されます。タップすると以下の情報や操作が表示されます。

- 再生メタ情報：再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、曲の長さなど
- Stream Info：入力信号の周波数など
- 音声フォーマット：入力信号の音声フォーマット（Dolby Atmos、DTSなど）やチャンネル数など
- 本機につないでいるBLUETOOTH機器名
- BLUETOOTH機器の再生操作
- 入力切換（*）

* アプリに対応したテレビを本機とHDMIケーブルでつないでいる場合は、テレビの入力も選ぶことができます。

● 【（電源）】

本機の電源が入っているときにタップすると、本機がスタンバイ状態になります。

● 【ナイトモード】

本機のナイトモードをオン／オフします。

● 【サウンドフィールド】

本機のサラウンド効果をオン／オフします。

● 【ボイスモード】

本機のボイスモードをオン／オフします。

● 【ボイスズーム】

本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいると有効になる機能です。本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームが働きます。

● 【音量】

本機の音量を調節します。

● 【低音レベル】

低音の音量を調節します。

● 【音声切換】

本機に二重音声（デュアルモノラル）信号が入力されているときに、聞きたい音声を選ぶことができます。

ご注意

- 複数信号の2ヶ国語放送や音声多重放送の主音声／副音声は本機で切り換えることはできません。お使いのテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの送り出し側で音声を切り換えてください。詳しくは、テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの取扱説明書をご覧ください。

● 【設定】

本機の設定をします。

ご注意

- 反応が悪いときは、スマートフォンと本機のBLUETOOTH接続状況を確認してください。

関連項目

- [音質を調整する](#)

TP1001687615

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

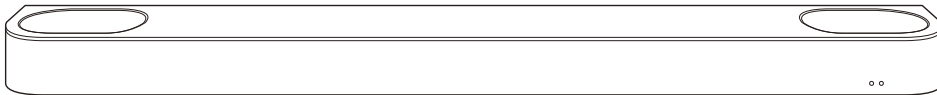
BRAVIA Theatre Bar 6

同梱品を確認する

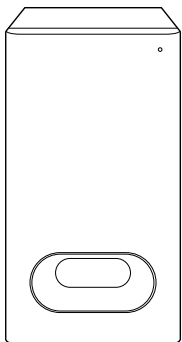
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。()内の数字は個数です。

お買い上げの国／地域によって、同梱品の有無や数量が異なります。製品に付属の使用上のご注意／仕様・保証書をご覧ください。同梱品の有無と数量をご確認ください。

- バースピーカー (1)



- サブウーファー (1)



- リモコン (1)



- HDMIケーブル (1)



- 電源コード (2または4)



- フット (2)



- ネジ (2)

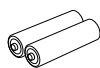


- 壁掛けテンプレート (紙) (1)

- 印刷物（一式）

一部の国／地域のみに付属している部品

- 乾電池（2）



- ACプラグアダプター（2）

TP1001687609

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

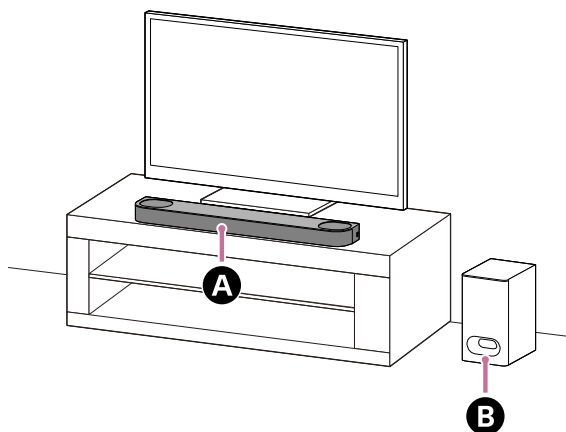
BRAVIA Theatre Bar 6

バースピーカーとサブウーファーを設置する

テレビ台や棚などに設置する、または壁に取り付けることができます。

テレビ台や棚に設置する例：

テレビ台や棚などに設置する場合は、「[本機をテレビ台や棚に設置する](#)」をご覧ください。

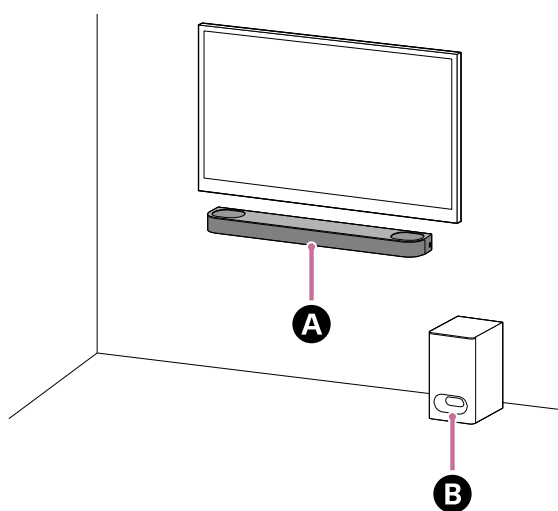


A バースピーカー

B サブウーファー

壁に取り付ける例：

壁に取り付ける場合は、「[バースピーカーを壁に取り付ける](#)」をご覧ください。



A バースピーカー

B サブウーファー

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

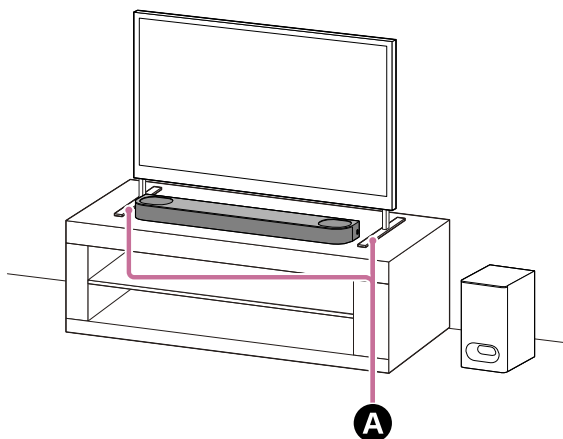
本機をテレビ台や棚に設置する

1 バースピーカーをテレビ台や棚の上に設置する。

バースピーカーの上部がテレビに重なり、テレビ画面やテレビのリモコン受光部を隠さないように、テレビの前の空いているスペースに置いてください。

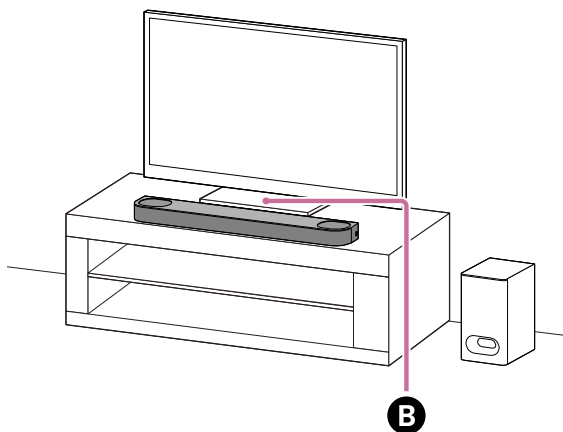
バースピーカーがテレビの脚と干渉してうまく置けない場合は、「[バースピーカーがテレビの脚と干渉してうまく置けない場合の対処法](#)」をご覧ください。

テレビの脚が左右に2つあるテレビと一緒に設置する例：



A 左右に2つあるテレビの脚

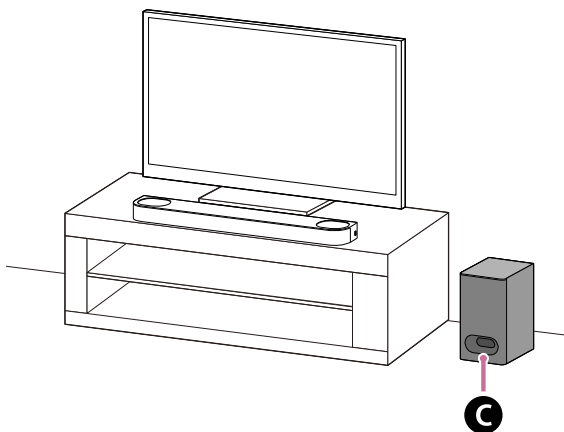
テレビの脚が中央に幅広いテレビと一緒に設置する例：



B テレビの中央にある幅広い脚

2 サブウーファーを設置する。

サブウーファーには音の指向性がないため好きな場所に置いてください。



C サブウーファー

3 次のような場合は、アプリで【スピーカー配置とレベル設定】（*）を行う。

- バースピーカーやサブウーファーの設置方法や位置を変えるとき
- 家具のレイアウトを変更するなど、視聴環境を変えるとき
- 日常的に視聴する位置を変えるとき

* アプリのリモコン画面で【設定】→【サウンド設定】→【スピーカー配置とレベル設定】をタップして表示します。

ご注意

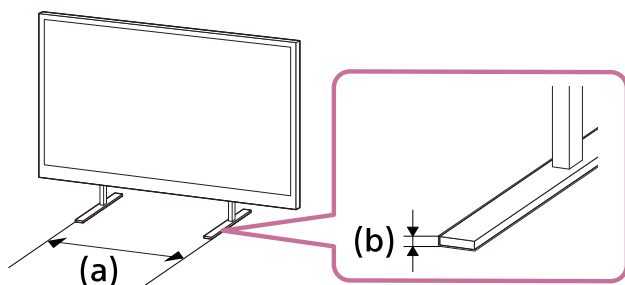
- バースピーカーの周りに金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- バースピーカーの天面をふさがないでください。上部から出力される音の妨げになります。
- バースピーカー背面には通風孔があります。テレビや壁から10 mm（25/64 インチ）以上離して設置してください。
- サブウーファーはテレビ棚や壁などから5 cm（2 インチ）以上離して設置してください。
- サブウーファーは横向きに寝かせて設置しないでください。

バースピーカーがテレビの脚と干渉してうまく置けない場合の対処法

バースピーカーに付属のフットを取り付けると、バースピーカーを設置面から浮かすことができるため、テレビの脚との干渉を回避することができます。

フットを取り付けには音質向上の効果はありません。

テレビの脚のサイズが下記に該当する場合、バースピーカーにフットを取り付けて設置することができます。



(a) テレビの脚の間隔：750 mm（29 5/8 インチ）以下

(b) テレビの脚の高さ：8.5 mm（11/32 インチ）以下

1. 必要なものを準備する。

- フット（2）（付属）



- ネジ（2）（付属）

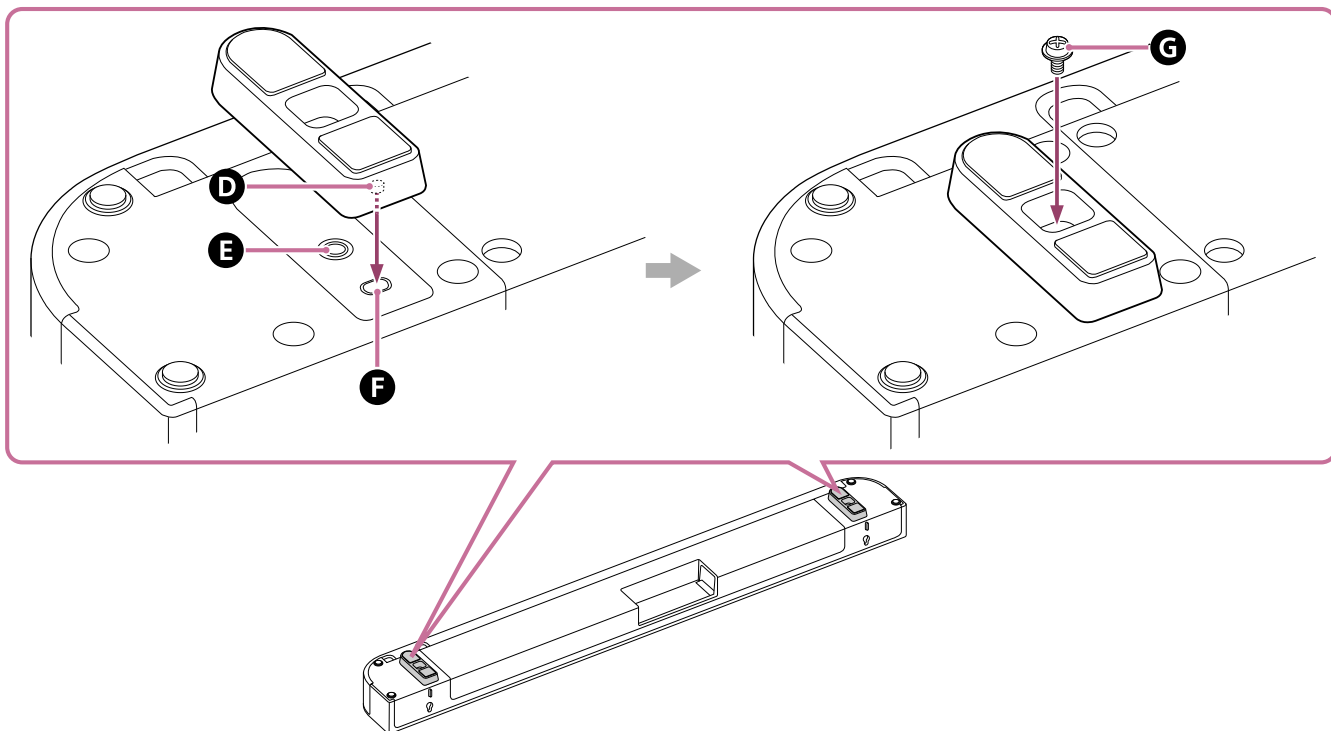


- プラスドライバー（市販）

2. バースピーカーにフットを取り付ける。

以下の流れでフットを取り付けてください。

- バースピーカーの底面を上側に向けて置く。
- フット内側の突起部をバースピーカーのネジ穴の隣にあるフット突起部用の穴にはめて位置を定める。
- フットをネジでバースピーカーに固定する。



- **D** 突起部
- **E** ネジ穴
- **F** フット突起部用の穴
- **G** ネジ（付属）

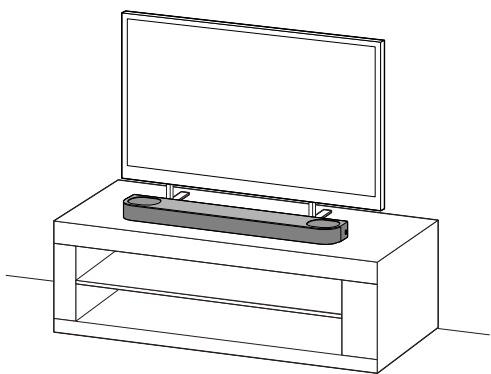
ヒント

- フットの取り付け／取り外し作業を行う際には、バースピーカーを傷つけないように、柔らかい布などを敷いてください。
- フットを取り外すときは、ネジを外した後にフットをつかんでねじりながら引っ張ると外れやすくなります。

3. バースピーカーを設置する。

バースピーカーでテレビのリモコン受光部を隠さないようにご注意ください。

設置したあとに、テレビのリモコンでテレビの電源をオン／オフできることを確認してください。



TP1001849945

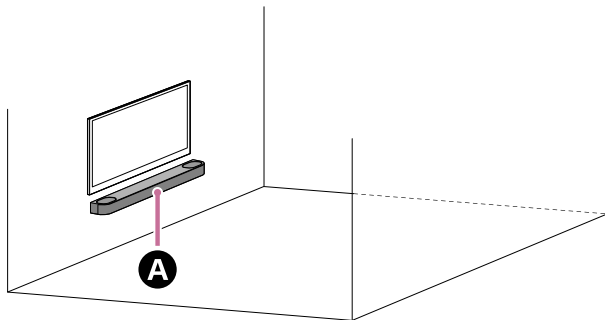
5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ベーススピーカーを壁に取り付ける

壁に取り付けたテレビの下に取り付けてください。

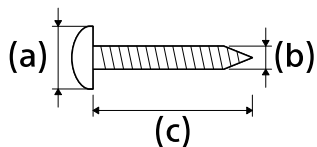


A ベーススピーカー

ご注意

- ベーススピーカーは補強された壁に水平に取り付けてください。
- 販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。
- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。
- 安全のために、取り付けは必ず2人以上で行ってください。

1 ベーススピーカー背面の穴に合う市販のネジを2本用意する。

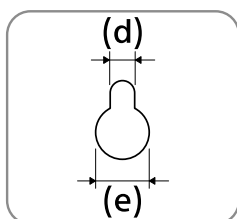


(a) 6 mmから9.5 mm (1/4 インチから3/8 インチ)

(b) 4 mm (3/16 インチ)

(c) 30 mm (1 3/16 インチ) 以上

参考：ベーススピーカー背面の穴のサイズ



(d) 5.1 mm (7/32 インチ)

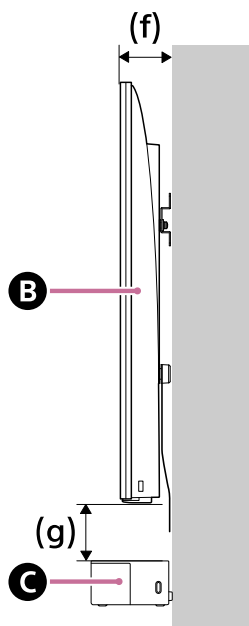
(e) 10 mm (13/32 インチ)

ご注意

- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。

2 壁掛けテレビの奥行き (f) を測り、テレビ底面からバースピーカー天面までの間隔 (g) を確認する。

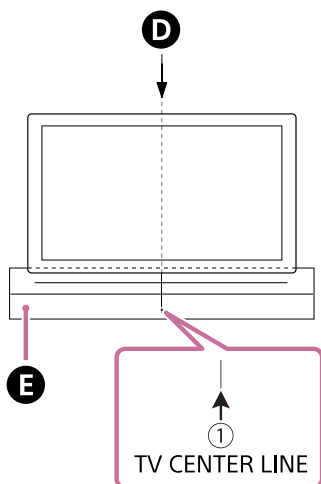
バースピーカーから天井に向けて出力されるサラウンド音声 テレビに妨げられないように、間隔を空ける必要があります。



- B** テレビ
- C** バースピーカー

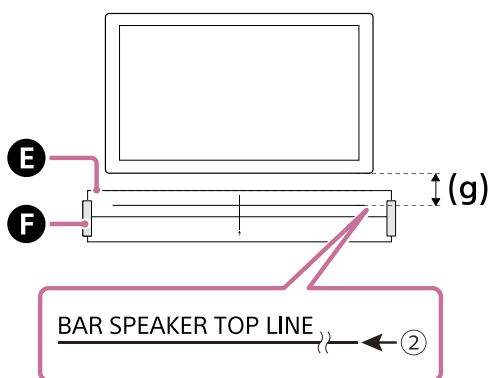
壁掛けテレビの奥行き (f)	テレビ底面からバースピーカー天面までの間隔 (g)
85 mm (3 3/8 インチ) 未満	120 mm (4 3/4 インチ) 以上
85 mm (3 3/8 インチ) 以上	200 mm (7 7/8 インチ) 以上

3 テレビの幅の中心に、壁掛けテンプレート (紙) (付属) に印字されている「↑① TVセンターライン」の縦線を合わせる。



- D** テレビの中心
- E** 壁掛けテンプレート

4 テレビの底面から手順2で確認した必要な間隔 (g) を空けた位置に、壁掛けテンプレートに印字されている「←② バースピーカー上端ライン」を合わせ、市販のセロハンテープなどで壁掛けテンプレートを壁に貼る。

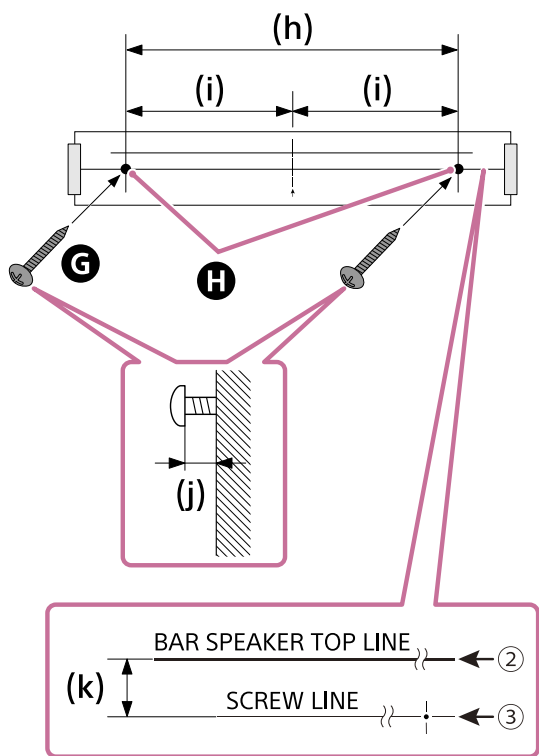


- E** 壁掛けテンプレート
- F** セロハンテープなど

ご注意

- 壁掛けテンプレートはしっかり伸ばして貼ってください。

- 5** 壁掛けテンプレートに印字されている「 ←③ ネジ取付けライン」の印の位置に、手順1で用意したネジを留める。



- G** ネジ
- H** 印

- (h) 801 mm (31 1/2 インチ)
- (i) 400.5 mm (15 3/4 インチ)
- (j) 8.5 mmから9.5 mm (約11/32 インチ)
- (k) 20 mm (13/16 インチ)

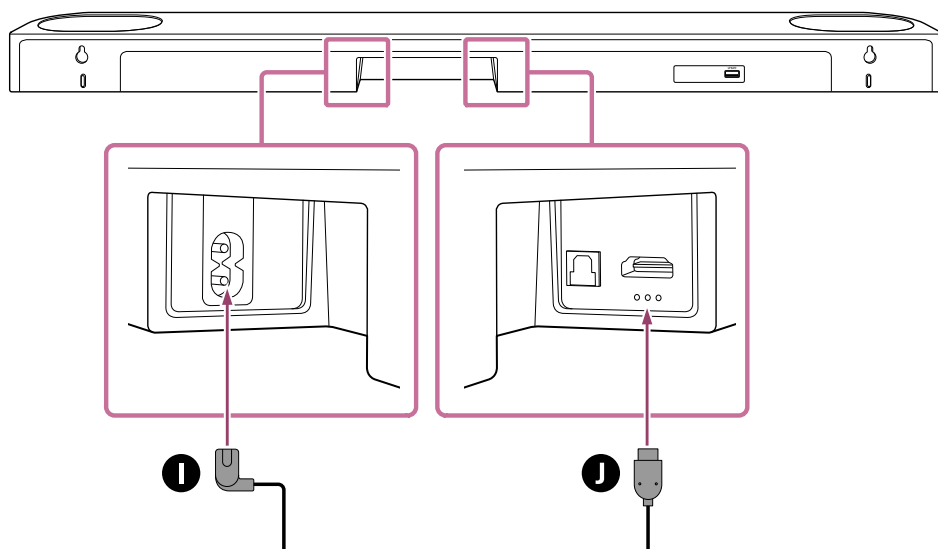
ご注意

- ネジは柱部分にしっかりと固定してください。

- 6** 壁掛けテンプレートを取りはずす。

7 バースピーカーにケーブルをつなぐ。

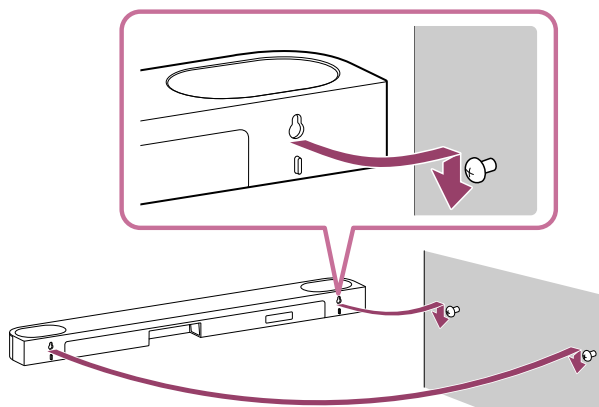
1. バースピーカーのHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子にHDMIケーブル（付属）をつなぐ。
2. バースピーカーのAC入力端子に電源コード（付属）をつなぐ。



- ① 電源コード
- ② HDMIケーブル

8 バースピーカー背面の穴をネジにかける。

バースピーカー背面の穴とネジの位置を合わせてから、2か所同時に取り付けてください。



9 バースピーカーにつないだHDMIケーブル（付属）を、テレビのeARC/ARC HDMI入力端子につなぐ。

10 バースピーカーにつないだ電源コードを、コンセントにつなぐ。

11 次のような場合は、アプリで【スピーカー配置とレベル設定】（*）を行う。

- バースピーカーやサブウーファースの設置方法や位置を変えるとき
- 家具のレイアウトを変更するなど、視聴環境を変えるとき
- 日常的に視聴する位置を変えるとき

* アプリのリモコン画面で【設定】→【サウンド設定】→【スピーカー配置とレベル設定】をタップして表示します。

- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

TP1001683749

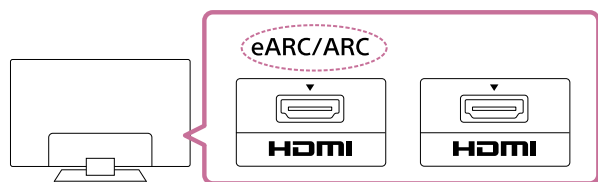
5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

テレビとつなぐ

はじめにテレビがeARC/ARCに対応しているか確かめる

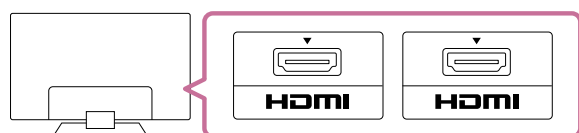
テレビに「eARC」または「ARC」と表記されているHDMI入力端子がある場合

「eARC/ARC対応のテレビとつなぐ」をご覧ください。

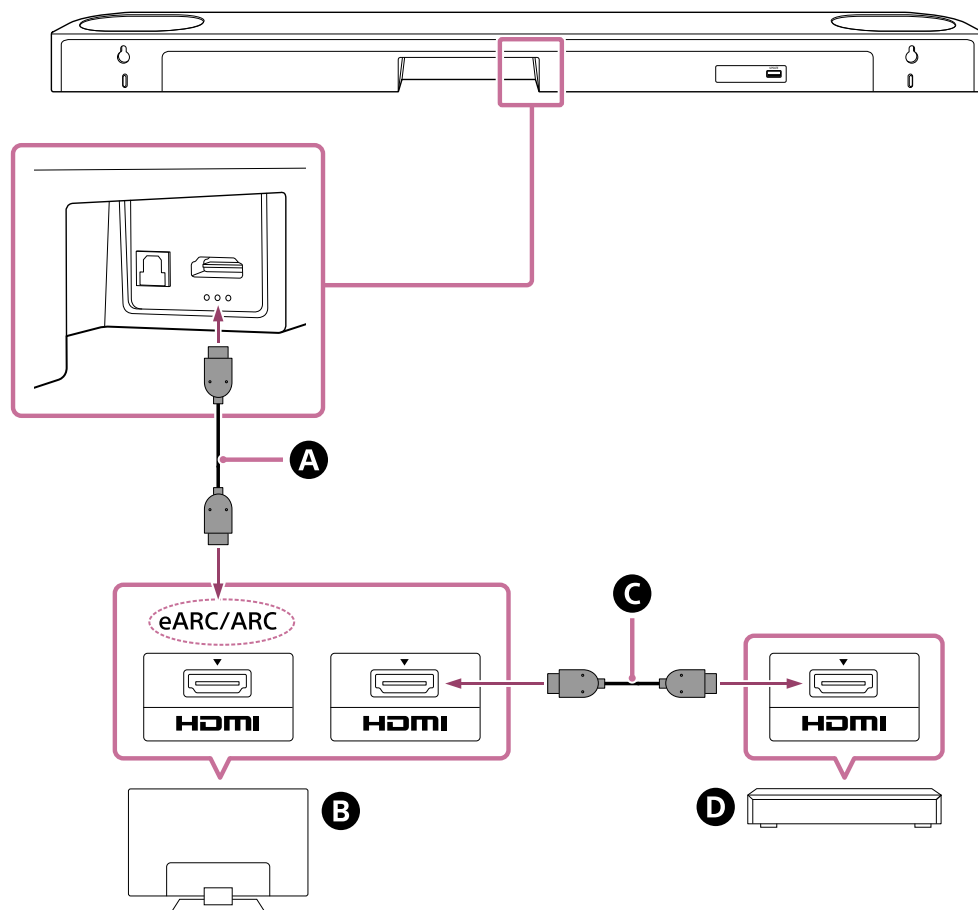


テレビに「eARC」または「ARC」と表記されているHDMI入力端子がない場合

「eARC/ARC非対応のテレビとつなぐ」をご覧ください。



eARC/ARC対応のテレビとつなぐ



- A** HDMIケーブル（付属）
B テレビ

③ HDMIケーブル（別売）

④ ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など

1. テレビとつなぐ。

テレビのeARC/ARC対応HDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子をHDMIケーブル（付属）でつなぎます。

外部機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）は、テレビとHDMIケーブル（別売）でつないでください。

2. テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。

お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

3. 本機とテレビの両方でeARCを有効に設定する。

本機につないだテレビがeARC/ARCに対応している場合は、eARC機能をご利用いただけます。

テレビにつないだ外部機器で再生したDolby Atmosなどのより高音質な音声フォーマットをお楽しみになるときは、本機とテレビのeARC設定が有効になっていることを確認してください。

- テレビのeARC設定：お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機のeARC設定：お買い上げ時は有効に設定されています。

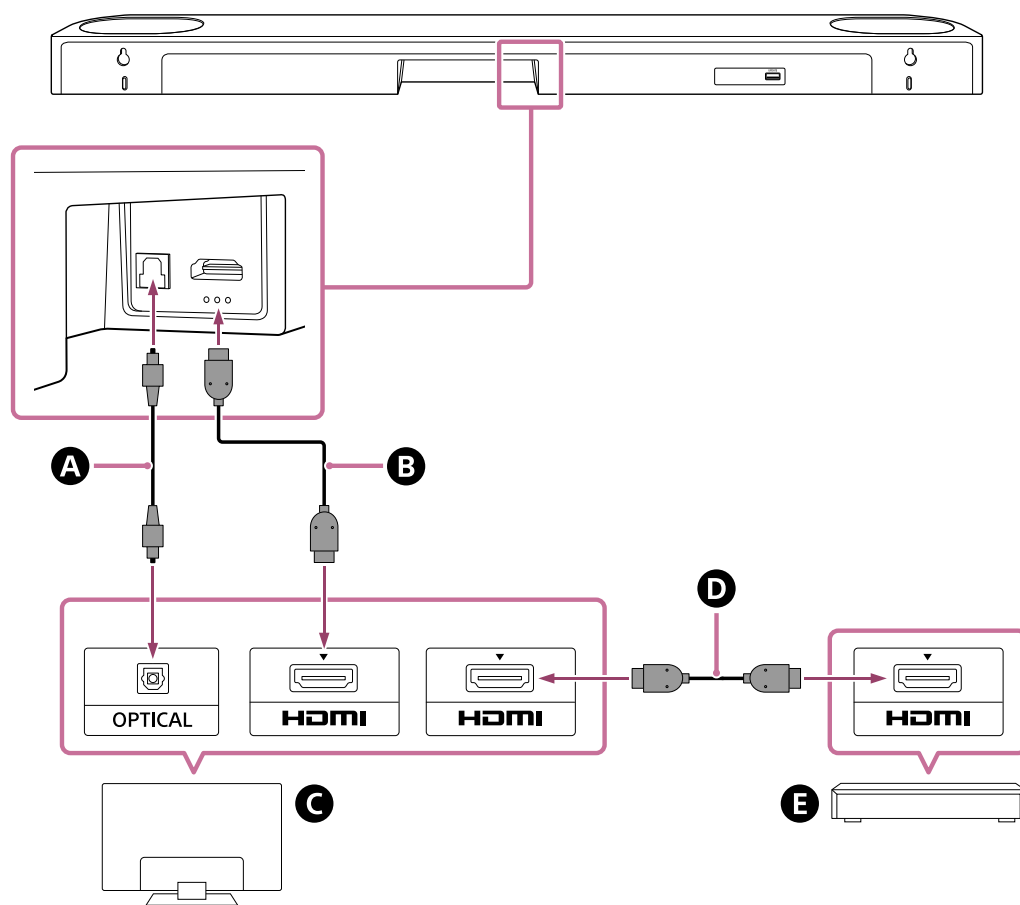
ご注意

- コネクターは奥までしっかり差してください。
- 本機をテレビのeARC/ARC対応のHDMI入力につながないと、テレビの音声を本機から再生することができません。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効に設定してください。テレビのHDMI機器制御機能を有効にしないと、本機からテレビの音声が出されません。
- テレビのeARC機能を有効にすることで、システム音や音声応答が出ないなど、テレビの一部動作が制限される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能で制御できる機器の種類と数は、HDMI CEC規格で以下のとおり制限されています。
 - 録画機器（ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダーなど）：3台まで
 - 再生機器（ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなど）：3台まで
 - チューナー関連機器：4台まで
 - オーディオシステム（AVアンプ／ヘッドホン）：1台まで（本機が使用します）

ヒント

- HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子の下には、約1 mm（1/16 インチ）の大きさの凸点（突起）が3つ付いています。接続の際は、凸点（突起）を目印としてお使いください。
- 対応している音声フォーマットについては、「[対応する音声フォーマット](#)」をご覧ください。

eARC/ARC非対応のテレビとつなぐ



- A 光デジタル音声ケーブル（別売）
- B HDMIケーブル（付属）
- C テレビ
- D HDMIケーブル（別売）
- E ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など

1. テレビのHDMI入力端子と本機のHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子をHDMIケーブル（付属）でつなぐ。
外部機器（ブルーレイディスクレコーダー、ケーブルテレビ（CATV）ボックス／衛星放送チューナー、またはゲーム機など）は、テレビとHDMIケーブル（別売）でつないでください。
2. テレビの光デジタル音声出力端子と本機のTV入力（OPTICAL）端子を光デジタル音声ケーブル（別売）でつなぐ。
3. テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。
お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- コネクターは奥までしっかり差ししてください。
- 光デジタル音声ケーブルのプラグと、テレビと本機の端子の形状を確認し、プラグを正しい向きで差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、端子やプラグが破損することがあります。

ヒント

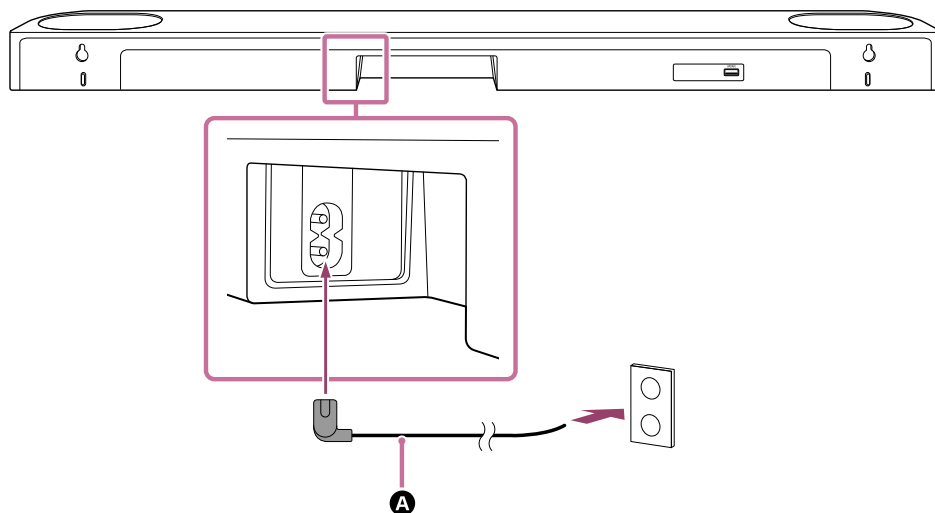
- HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子の下には、約1 mm（1/16 インチ）の大きさの凸点（突起）が3つ付いています。接続の際は、凸点（突起）を目印としてお使いください。

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

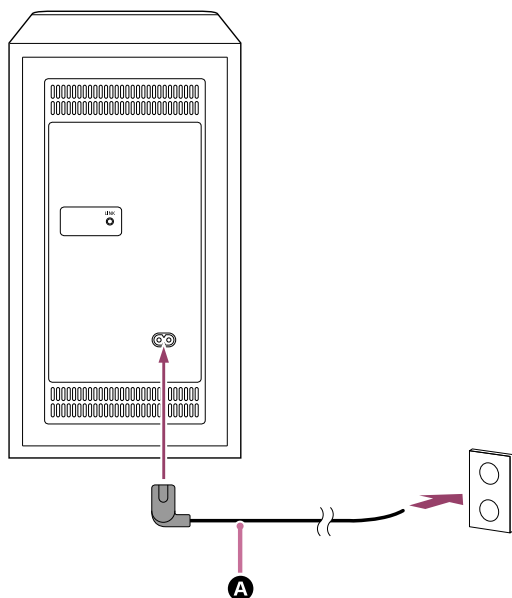
電源につなぐ

- 1 バースピーカーのAC入力端子に電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



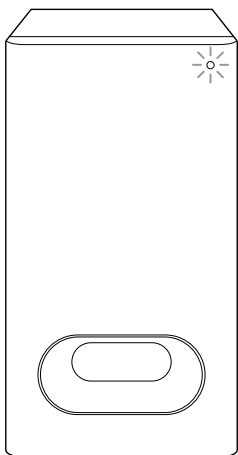
A 電源コード（付属）

- 2 サブウーファースのAC入力端子に電源コード（付属）をつなぎ、コンセントに差し込む。



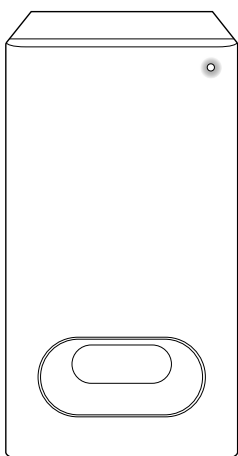
A 電源コード（付属）

サブウーファースの電源コードをコンセントに差し込むと、サブウーファースの電源が入り、サブウーファースの電源ランプが白色に点滅します。



3 サブウーファースの電源ランプが白色に点灯していることを確認する。

ベーススピーカーとサブウーファースとの接続が完了すると、サブウーファースの電源ランプが白色に点灯します。



接続できない場合は、「[ベーススピーカーとサブウーファースが正しくつながらないときは](#)」をご覧ください。

TP1001683832

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする

本機をセットアップするには、“Sony | BRAVIA Connect”アプリを使用します。

- 1 バースピーカーとテレビの接続が完了し、バースピーカーとサブウーファーが電源につながっていることを確認する。
- 2 “Sony | BRAVIA Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。



- 3 アプリを起動し、画面にしたがってセットアップを完了する。

バースピーカーの電源がオンになるとサブウーファーと自動的につながり、サブウーファーの電源ランプが白色に点灯します。

サブウーファーがバースピーカーとつながらない場合は、サブウーファーの電源ランプが赤色に点灯します。「[バースピーカーとサブウーファーが正しくつながらないときは](#)」をご覧ください、サブウーファーをバースピーカーとつなげてください。

関連項目

- [バースピーカーとサブウーファーを設置する](#)
- [バースピーカーを壁に取り付ける](#)
- [テレビとつなぐ](#)
- [電源につなぐ](#)

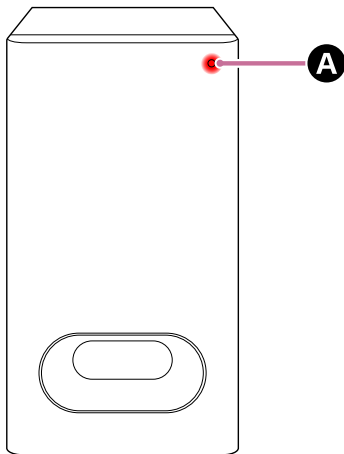
TP1001683764

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ベーススピーカーとサブウーファーが正しくつながらないときは

ベーススピーカーとサブウーファーが正しくつながらない場合は、サブウーファーの電源ランプが赤色に点灯し、アプリのリモコン画面にサブウーファー接続の案内が表示されます。アプリの案内にしたがって、サブウーファーをベーススピーカーにつないでください。



A 電源ランプ

ヒント

- スピーカー接続の状態は、アプリのリモコン画面の[設定] → [ワイヤレススピーカー設定]で確認できます。

付属リモコンで操作するには

1. NIGHT (ナイトモード) →  (消音) →  (消音) → NIGHT (ナイトモード) を5秒以内に順に押す。
ベーススピーカーのメインステータスランプが青と白で交互に点滅します。
2. サブウーファーのLINK (リンク) を押す。
サブウーファーの電源ランプが白色で2回ずつ点滅します。
接続が完了するとサブウーファーの電源ランプが白色に点灯します。

関連項目

- [サブウーファーのランプ表示](#)
- [“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)
- [\[かんたん初期設定\]](#)
- [\[ワイヤレススピーカー設定\]](#)

TP1001683775

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

テレビの音声を聞く

アプリのリモコン画面で以下のように操作してください。

1 画面上部にある再生情報表示／入力切換エリアをタップして、入力を【テレビ】に切り換える。

本機とブラビアを操作できるアプリのリモコン画面が表示されている場合は、本機の入力切換の操作は必要ありません。テレビで視聴するコンテンツに連動して、本機の音声入力が切り換わります。

2 音量を調節する。

付属リモコンで操作するには

1. INPUT（入力切換）を押して、バースピーカーのメインステータスランプを白色に点灯させる。
2. 音量を調節する。

ご注意

- テレビ（eARC/ARC）入力を選んでいてもテレビの映像が出ない場合は、テレビのリモコンで見たいチャンネルを選んでください。
- テレビをHDMI出力（TV（eARC/ARC））端子とTV入力（OPTICAL）端子両方につないだ場合は、HDMI出力（TV（eARC/ARC））端子へ入力される音声優先されます。
- サブウーファーは低音を再生するためのスピーカーです。テレビ放送などの低音の少ない入力では、サブウーファーの音が聞こえにくいことがあります。
- テレビと本機の電源を入れる順番によっては、本機が消音状態になり、バースピーカーのサブステータスランプが白色に点滅する場合があります。その場合は、テレビの電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

TP1001683756

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

音質を調整する

アプリのリモコン画面や付属リモコンで以下のような音質調整ができます。

アプリのリモコン画面で操作する

アプリに対応したブラビアを本機とHDMIケーブルでつないでいる場合は、[画質と音質]を選んでください。

- **【サウンドフィールド】**

サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。

- **【ボイスモード】**

セリフを強調し、聞こえやすくします。

- **【ボイスズーム】**

本機との連携機能に対応しているソニー製テレビをつないでいると有効になる機能です。本機の入力をテレビにすると、ボイスモードの代わりにボイスズームが働きます。

ボイスズームは、全体の音量を変えずに人の声の音量だけを調節できます。ニュースキャスターの声を聞き取りやすくしたいときには声の音量を大きく、スポーツ中継など実況や解説の声が大きいと感じるときは声の音量を小さくするなどの調節ができます。

- **【ナイトモード】**

深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。

付属リモコンで操作する

付属リモコンのボタンを押すたびに設定が変わり、バースピーカーのサブステータスランプで設定状態が確認できます。

オンに設定したとき：サブステータスランプが白色で1回長く点灯します。

オフに設定したとき：サブステータスランプが白色で2回点滅します。

- **SOUND FIELD (サウンドフィールド)**

サラウンド効果を加えて音声を再生します。臨場感のあるサラウンドを体感したいときに適しています。

- **VOICE (ボイスモード)**

セリフを強調し、聞こえやすくします。

本機との連携機能に対応しているテレビをつないでいるときは、ボイスズームが働いて人の声の音量を調節します。

ボイスズームをオンにすると、テレビのメニューやアプリのリモコン画面で最後に調節した値が適用されます。

- **NIGHT (ナイトモード)**

深夜の小音量時でも音響効果やセリフの明瞭さを失わずに音声を楽しめます。

ご注意

- テストトーン出力中はサウンドフィールドは使えません。
- [サウンドフィールドの種類] が [ドルビー・スピーカー・バーチャライザー]、かつサウンドフィールドがオンのときは、ボイスモードは無効になります。 (*)
- サラウンド処理により得られる臨場感は、再生するコンテンツによって異なる場合があります。
- マルチチャンネルの音声を再生するには、つないだ機器のデジタル音声設定を確認してください。詳しくは、つないだ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- コンテンツやサウンドフィールドの設定 (*) によっては音が出ないスピーカーがあります。

- 本機の電源を切ると、ナイトモードは自動的にオフになります。
- 本機との連携機能に対応しているテレビは、下記のURLをご確認ください。
https://www.sony.net/hav_faq
- テレビの設定やコンテンツによっては、ボイスズームが動作しないことがあります。

* サウンドフィールドのオン／オフ、およびアプリのリモコン画面で [設定] → [サウンド設定] → [サウンドフィールドの種類] をタップして表示される設定です。

関連項目

- [\[サウンド設定\]](#)

TP1001686291

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）して音楽を聞く

BLUETOOTH機能を使うには、あらかじめ本機でBLUETOOTH機器をペアリングする必要があります。
ペアリングとは、機器同士を互いにあらかじめ登録することです。

1 BLUETOOTH機器の電源を入れる。

2 アプリのリモコン画面で入力を【Bluetooth】に切り換える。

すでに本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、[他の機器と接続する] を選びます。
ペアリングした機器がない状態で【Bluetooth】入力に切り換えると、本機がペアリングモードになり、バースピーカーのメインステータスランプが青色で2回ずつ点滅します。

3 BLUETOOTH機器でペアリング操作をして、本機を検索する。

BLUETOOTH機器が検出したBLUETOOTH機器の一覧がBLUETOOTH機器の画面に表示されます。
BLUETOOTH機器でペアリングする操作については、BLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

4 BLUETOOTH機器の画面に表示された機器の一覧から本機（*）を選び、本機とBLUETOOTH機器を相互に登録する。

パスコードを要求された場合は、「0000」を入力します。

* BRAVIA Theatre Bar 6または【本機の名前】で設定した機器名

5 アプリのリモコン画面で本機とBLUETOOTH機器がBLUETOOTH機能でつながったことを確認する。

アプリのリモコン画面に、つないだBLUETOOTH機器名が表示されます。

6 BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

7 音量を調節する。

アプリのリモコン画面、音楽再生アプリ、または付属リモコンの （音量）+（プラス）/ -（マイナス）で音量を調節できます。

アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止をすることもできます。

ご注意

- ペアリングに失敗する場合は、BLUETOOTH機器で以下の操作をお試しください。
 - ペア設定リクエストを許可する。
 - BLUETOOTH機器のペアリング済み機器が上限数に達している場合は、不要な機器を削除する。
 - 本機を初期化したときは、BLUETOOTH機器から本機のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングを行う。

ヒント

- まだ1台もペアリングをしていない場合（本機ご購入直後など）は、［Bluetooth］入力で切り換えるだけでペアリングモードになります。
- 2台目以降もBLUETOOTH機器ごとにペアリングを行ってください。

関連項目

- [BLUETOOTH機能のオン／オフを設定する](#)
- [初期化する](#)

TP1001683758

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

機器登録（ペアリング）済みのBLUETOOTH機器の音楽を聞く

1 BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。

2 アプリのリモコン画面で入力を「Bluetooth」に切り換える。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながります。

本機を別のBLUETOOTH機器とつないでいる場合は、「他の機器と接続する」を選んでください。次に本機とつながりたいBLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に本機を選んでください。

3 BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。

本機から音声が出力されます。

4 音量を調節する。

アプリのリモコン画面または音楽再生アプリから音量を調節できます。

アプリのリモコン画面で再生操作アイコンをタップして、コンテンツの再生や一時停止をすることもできます。

付属リモコンで操作するには

1. BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオンにする。
2. INPUT（入力切替）を押して、バースピーカーのメインステータスランプを青色に点灯させる。

本機と最後につないだBLUETOOTH機器と自動的につながります。

手順1で操作したBLUETOOTH機器につながらなかった場合は、アプリのリモコン画面で「他の機器と接続する」を選んでください。次に手順1で操作したBLUETOOTH機器を操作してBLUETOOTH機能の接続相手に本機を選んでください。

3. BLUETOOTH機器の音楽再生アプリでコンテンツを再生する。
4. 音量を調節する。

ヒント

- 本機とBLUETOOTH機器をBLUETOOTHで接続できなかった場合、BLUETOOTH機器で本機を選んでください。
- 音の遅延が気になる場合は、アプリのリモコン画面で「設定」→「Bluetooth設定」→「Bluetooth接続品質」を「接続優先」に変更すると改善する場合があります。

BLUETOOTH機器の接続を解除する

次のいずれかを行ってください。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。
- 本機またはBLUETOOTH機器の電源を切る。

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

BLUETOOTH機能のオン／オフを設定する

お買い上げ時は、BLUETOOTH機能がオンに設定されています。

- 付属リモコンの  (消音)、 (音量) - (マイナス)、 (音量) + (プラス) を5秒以内に順に押すと、ベーススピーカーのサブステータスランプが白色で2回点滅し、BLUETOOTH機能がオフになります。
- 付属リモコンの  (消音)、 (音量) - (マイナス)、 (音量) + (プラス) を5秒以内に順にもう一度押すと、ベーススピーカーのサブステータスランプが白色で長く点灯し、BLUETOOTH機能がオンになります。

ご注意

- BLUETOOTH機能がオフに設定されている場合、以下の操作を行うことはできません。
 - BLUETOOTH機器とペアリングまたは接続する。
 - “Sony | BRAVIA Connect”アプリを使用する。

TP1001686285

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）

HDMI機器制御機能対応のテレビと本機をHDMIケーブルでつなぐと、本機とテレビの電源の入／切や音量の調節を連携させることができます。

HDMI機器制御機能とは

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）ケーブルでつないだ機器同士が連携して動作する機能のことです。HDMI機器制御機能に対応した機器間で働きますが、他社製の機器とつないだ場合に動作しない場合があります。

テレビと連携して使う準備をする

本機とHDMIケーブルでつないだテレビのHDMI機器制御機能を有効にしてください。
お買い上げ時は、本機のHDMI機器制御機能は有効に設定されています。

ご注意

- テレビがHDMI機器制御機能に対応している必要があります。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのスピーカー設定を確認してください。本機の電源はテレビのスピーカー設定に連動します。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビによっては、前回テレビのスピーカーから音声が出力されていた場合は、テレビの電源を入れても本機の電源が入らない場合があります。

ヒント

- ブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでテレビにつないでいる場合は、その機器のHDMI機器制御機能も有効にしてください。
- テレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器のHDMI機器制御機能を有効にするには、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製のテレビをご使用の場合は、テレビのHDMI機器制御（“ブラビアリンク”）機能を有効にすると、本機のHDMI機器制御機能も自動的に有効になります。
- 本機のHDMI機器制御機能の設定は、アプリのリモコン画面の〔設定〕→〔HDMI設定〕→〔HDMI機器制御〕で変更できます。

テレビのリモコンで本機の電源や音量を操作する

テレビのリモコンで電源や音量を操作すると、テレビに連携して本機が動作します。



- A テレビ
- B テレビのリモコン

電源の連動

テレビの電源を入れると、本機の電源も自動的に入ります。テレビの電源を切ると、本機の電源も自動的に切れます。

ご注意

- テレビの電源を切るよりも前に本機の電源を切ると、次にテレビの電源を入れても本機の電源が入らないことがあります。この場合、以下の操作をすると本機の電源が入ります。
 - － テレビのメニューで、本機をスピーカー出力先に選ぶ。
 - － ソニー製のテレビをお使いの場合は、テレビの電源が入っている状態で本機の電源を入れる。

音量の調節

テレビで視聴している映像の音声自動的に本機のスピーカーから出力されます。また、テレビのリモコンで本機の音量を調節できます。

ワンタッチプレイ

テレビにつないだブルーレイディスクレコーダーでコンテンツを再生したり、PlayStation®5ではコントローラーのPSボタンを押すなどの操作で、自動的に本機とテレビの電源が入ります。

関連項目

- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001683794

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

“ブラビアリンク”対応テレビと本機を連携して操作する

“ブラビアリンク”はHDMI機器制御機能をソニーが独自に拡張した機能です。“ブラビアリンク”対応のテレビやブルーレイディスクレコーダーなどの機器をHDMIケーブルでつなぐと、これらの機器を連携して操作ができます。

“ブラビアリンク”を使うには

ソニー製の機器のHDMI機器制御機能を有効にすると、“ブラビアリンク”が有効になります。

“ブラビアリンク”でできること

HDMI機器制御機能

- 電源の連動
- 音量の調節
- ワンタッチプレイ

関連項目

- [テレビと本機を連携して操作する（HDMI機器制御機能）](#)
- [\[HDMI設定\]](#)

TP1001683795

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

【ワイヤレススピーカー設定】

付属のサブウーファースの接続に関する設定です。

アプリのリモコン画面で「設定」→「ワイヤレススピーカー設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

ワイヤレススピーカー状態確認

アプリの画面で本機とつながっているスピーカーの接続状態を確認できます。

【手動リンク開始】

ベーススピーカーとサブウーファースを手動でつなぎます。

TP1001683767

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

【サウンド設定】

音声の出力に関する設定です。

アプリのリモコン画面で【設定】→【サウンド設定】をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【スピーカー配置とレベル設定】

サラウンド音声を十分に楽しむために、視聴位置からスピーカーまでの距離と出力レベルを調整します。

【サウンドフィールドの種類】

選んだサウンドフィールドの効果を楽しむには、付属リモコンまたはアプリのリモコン画面で、サウンドフィールドを有効にしてください。

【テストトーン】

現在の設定でのサウンド出力、および各スピーカーから安定して音出力されているかを確認できます。

【DSEE】

圧縮音源の高音域を補完して再生します。

【オーディオDRC】

音声信号のダイナミックレンジ（最大音量から最小音量の幅）を圧縮して、小さな音を聞きとりやすくします。

【DTSダイアログコントロール】

DTS:Xダイアログコントロールに対応したコンテンツの再生中にセリフの音量を調節できます。

【AVシンク】

音声と映像のずれを調節します。

【アドバンスト自動音量調整】

入力信号による音量の変化を小さくします。例えばコマーシャルの音量が番組の音量より大きい場合などに有効です。

関連項目

- [付属リモコン](#)
- [アプリのリモコン画面](#)
- [ベーススピーカーとサブウーファーを設置する](#)
- [ベーススピーカーを壁に取り付ける](#)
- [【HDMI設定】](#)

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

【HDMI設定】

HDMIに関する設定です。

アプリのリモコン画面で「設定」→「HDMI設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【HDMI機器制御】

HDMI機器制御機能が有効なとき、HDMIケーブルでつないだ機器を相互に操作したり、テレビからARC音声を受けることができます。

【eARC】

eARC対応テレビにつないでいるとき、設定を有効にするとeARC機能が働きます。ARC対応テレビ（eARC非対応テレビ）につないでいるときは、この設定に関係なくARC機能が働きます。

eARCを有効にしたときは、テレビのeARC設定を確認してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

【TV音声入力モード】

テレビからの音声入力を選びます。

TP1001683803

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

【Bluetooth設定】

BLUETOOTH機能の詳細設定です。

アプリのリモコン画面で「設定」→「Bluetooth設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【Bluetooth接続品質】

BLUETOOTH機器の音声を本機で聞くときのBLUETOOTH接続品質を設定します。

関連項目

- [BLUETOOTH機能のオン／オフを設定する](#)

TP1001683835

サウンドバー
BRAVIA Theatre Bar 6

【本体設定】

本機に関する設定です。
アプリのリモコン画面で「設定」→「本体設定」をタップすると、以下の設定項目が表示されます。

【自動電源オフ】

何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、自動的にネットワークスタンバイ状態またはスタンバイ状態になります。

【Bluetoothスタンバイ】

接続履歴のあるBLUETOOTH機器との接続時に電源が入ります。アプリから本機の電源を入れることもできます。
オン：「自動電源オフ」機能の発動後、または電源を切ったときにネットワークスタンバイ状態になります。
オフ：「自動電源オフ」機能の発動後、または電源を切ったときにスタンバイ状態になります。

ご注意

- 「Bluetoothスタンバイ」を「オフ」にすると、本機の電源を入れたときにスピーカーから音声が出力されるまで時間がかかることがあります。

【本体表示の明るさ】

ベーススピーカーやサブウーファースのランプの明るさを調節できます。

【本機の名前】

BLUETOOTH機能を使うときなどに表示される本機の名前を、わかりやすい名前に変更できます。

【システム情報】

本機のソフトウェアバージョンなどの本体情報を表示します。

【ソフトウェアライセンス】

ソフトウェア使用許諾契約を表示します。

TP1001683806

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

【かんたん初期設定】

本機の基本的な設定やスピーカー設定を簡単に行うことができます。
アプリのリモコン画面で「設定」→「かんたん初期設定」をタップしてください。

TP1001686290

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

スタンバイ時の消費電力を抑える

スタンバイ時の消費電力を抑えるには、以下の設定をします。

- アプリのリモコン画面で「設定」→「本体設定」→「Bluetoothスタンバイ」を「オフ」に設定する。

ご注意

- 「Bluetoothスタンバイ」を「オフ」にすると、本機の電源を入れたときにスピーカーから音声が出力されるまで時間がかかることがあります。

TP1001683797

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ソフトウェアをアップデートする

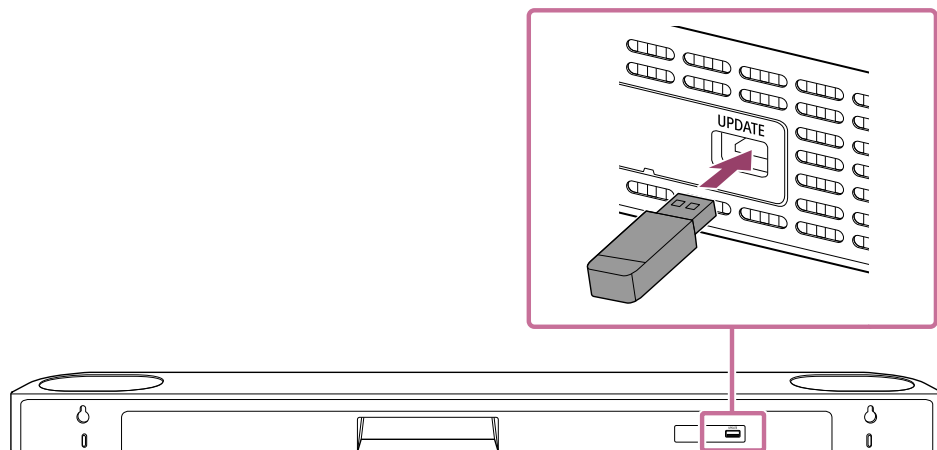
新しいソフトウェアを利用できるときは、アプリのリモコン画面に通知が表示されます。アプリの画面に従ってソフトウェアをアップデートしてください。

ご注意

- アップデートを開始する前に、以下を確認してください。
 - サブウーファースの電源が入っていてベーススピーカーとつながっている。
 - BLUETOOTH機能がオンになっている。

1 アプリの画面に従ってサポートページを確認し、ソフトウェアアップデートファイルをUSBメモリに保存する。

2 手順1で準備したUSBメモリをベーススピーカー背面のUPDATE（アップデート）端子につなぐ。



ソフトウェアアップデートが自動的に始まります。

アップデート中は、ベーススピーカーのメインステータスランプとサブウーファースの電源ランプが白色／青色で交互にゆっくり点滅します。

アップデートが完了すると、ベーススピーカーのメインステータスランプが白色で2秒ごとに点滅します。

3 USBメモリを抜く。

ヒント

- ソフトウェアアップデートがあるときは、サポートページでもお知らせします。サポートページについては、「[サポートページで調べる](#)」をご覧ください。

関連項目

- [ベーススピーカーのランプ表示](#)
- [サブウーファースのランプ表示](#)
- [BLUETOOTH機能のオン／オフを設定する](#)
- [サポートページで調べる](#)

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

困ったときにすること

困ったときは、下記の流れにしたがってください。

1. 本機およびテレビにつないでいる機器が、正しい端子と正しいケーブルでつながっており、奥までしっかり差し込まれていることを確認する。



2. 本機背面の通風孔がふさがっていないか確認する。



3. 電源コードをコンセントから抜いて電源を切り、数分後に再び電源コードを差し直す。



4. 下記のいずれかの方法で、該当するトラブルと解決方法を確認する。

- "Sony | BRAVIA Connect"アプリのメニューからヘルプを選びサポート情報を確認する。
- サポートページで本機の型名を選びサポート情報を確認する。
サポートページのURLは、「[サポートページで調べる](#)」をご覧ください。



5. 本機を初期化する。

本機のすべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



6. それでも正常に動作しない場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。

- ソニーの相談窓口：
<https://www.sony.net/support-contact>

関連項目

- [サポートページで調べる](#)
- [初期化する](#)

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

サポートページで調べる

サポートページでは、以下のような情報を調べることができます。
お住まいの国／地域のサポートページをご覧ください。

- よくある問い合わせ情報
- ソフトウェアアップデートなどの最新情報
- 使い方相談窓口
- 修理相談窓口
- 製品登録

アメリカ合衆国、カナダ、中南米の国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony.com/am/support>

ヨーロッパの国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony.eu/support/>

中国大陆にお住まいのお客様：

<https://service.sony.com.cn/>

アジア、オセアニア、中東、アフリカの国／地域にお住まいのお客様：

<https://www.sony-asia.com/support>

日本にお住まいのお客様：

<https://www.sony.jp/support/>

TP1001686283

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

初期化する

「[困ったときにすること](#)」で症状が改善されない場合は、本機を初期化してください。

バースピーカーを初期化する

バースピーカーの  (電源) を10秒以上押したままにする。

バースピーカーのメインステータスランプが白色／青色で交互に点滅し、初期化が開始されます。初期化が完了すると、バースピーカーの電源が自動でオンになり、メインステータスランプが白色に点灯します。

サブウーファーを初期化する

サブウーファーのLINKを10秒以上押したままにする。

サブウーファーの電源ランプが白色／青色で交互に点滅し、初期化が開始されます。初期化が完了すると、サブウーファーの電源ランプが赤色に点灯します。

バースピーカーの電源がオンになっている場合はバースピーカーと自動でつながり、サブウーファーの電源ランプが白色に点灯します。

ご注意

- バースピーカーとサブウーファーがつながった状態でバースピーカーを初期化すると、サブウーファーも同時に初期化されます。バースピーカーのみを初期化する場合はサブウーファーの電源をオフにしてください。
- バースピーカーとサブウーファーがつながった状態でサブウーファーを初期化してもバースピーカーは同時に初期化されず、サブウーファーのみが初期化されます。
- 本機を初期化したときは、本機とつないだスマートフォンなど(*)のBLUETOOTH設定から、本機のペアリング情報(本機の名前(**)、LE_本機の名前)を削除してください。
* アプリをインストールしたスマートフォン、BLUETOOTH機能対応の音源機器などが該当します。
** BRAVIA Theatre Bar 6または「本機の名前」で設定した機器名
- 本機を初期化した場合は、アプリで初期設定を行ってください。
- 初期化によりバースピーカーとサブウーファーとの接続が切断される場合があります。その場合は、サブウーファー背面のLINKを押して再接続してください。

関連項目

- [バースピーカーのランプ表示](#)
- [サブウーファーのランプ表示](#)
- [“Sony | BRAVIA Connect”アプリで初期設定をする](#)

TP1001686284

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

主な仕様

■ バースピーカー (YY2088C1/ YY2092C1)

フロントスピーカー部

使用スピーカー

46 mm × 54 mm (1 13/16 インチ × 2 1/4 インチ) コーン型

スピーカー形式

アコースティックサスペンション型

センタースピーカー部

使用スピーカー

46 mm × 54 mm (1 13/16 インチ × 2 1/4 インチ) コーン型

スピーカー形式

アコースティックサスペンション型

トップスピーカー部

使用スピーカー

46 mm × 54 mm (1 13/16 インチ × 2 1/4 インチ) コーン型

スピーカー形式

アコースティックサスペンション型

BLUETOOTH部

出力

BLUETOOTH標準規格 Power Class 1

最大通信距離

見通し距離約25 m (82.0 フィート) *

* 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

登録台数

9台まで : BLUETOOTH Low Energy (Sony | BRAVIA Connect接続)

9台まで : BLUETOOTH Classic (A2DP)

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯 (2.400 0 GHz ~ 2.483 5 GHz)

変調方式

FHSS

対応BLUETOOTHプロファイル*

* BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック*

* コーデックとは、音声圧縮変換方式のことです。

SBC (Subband Codec)

AAC (Advanced Audio Coding)

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域 (A2DP)

20 Hz ～ 20 000 Hz (44.1 kHz、48 kHzサンプリング時)

USB部

ψ (USB) 端子

Aタイプ (ソフトウェアアップデート専用)

HDMI部

端子

19ピン標準コネクタ (Type A)

一般

入力

TV入力 (OPTICAL)

出力

HDMI出力 (TV (eARC/ARC))

消費電力

On状態のとき : 35 W

ネットワークスタンバイ状態のとき ([Bluetoothスタンバイ] がオンのとき) : 2.0 W以下

スタンバイ状態のとき ([Bluetoothスタンバイ] がオフのとき) : 0.5 W以下

[自動電源オフ] 機能が有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、ベーススピーカーは自動的にネットワークスタンバイ状態またはスタンバイ状態になります。

[自動電源オフ] 機能を無効にすると、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法* (幅×高さ×奥行き)

* 突起部除く

ベーススピーカー :

約950 mm × 64 mm × 110 mm (37 1/2 インチ × 2 5/8インチ × 4 3/8インチ)

ベーススピーカー (フット含む) :

約950 mm × 77 mm × 110 mm (37 1/2 インチ × 3 1/8インチ × 4 3/8インチ)

質量

ベーススピーカー :

約3.1 kg (6 ポンド 14 オンス)

ベーススピーカー (フット含む) :

約3.1 kg (6 ポンド 14 オンス)

サブウーファー (YY2088C2/ YY2092C2)

スピーカー部

使用スピーカー

160 mm (6 3/8 インチ) コーン型

スピーカー形式

サブウーファーシステムバスレフ型

一般

消費電力

On状態のとき : 20 W

ネットワークスタンバイ状態のとき (電源ランプが赤色に点灯しているとき) : 2.0 W以下

電源オフ状態のとき (電源ランプが消灯しているとき) : 0.3 W以下*

* LINK (リンク) を2秒間以上押してから離すと電源オフに遷移し、電源ランプが消灯します。再びご使用になる際はLINK (リンク) を押してください。

[自動電源オフ] 機能が有効なとき、何も操作されないまま無入力状態で約20分が経過すると、サブウーファーは自動的にネットワークスタンバイ状態になります。

[自動電源オフ] 機能を無効にすると、本機の消費電力が増えます。

最大外形寸法*（幅×高さ×奥行き）

* 突起部除く

約210 mm × 388 mm × 388 mm（8 3/8 インチ × 15 3/8 インチ × 15 3/8 インチ）

質量

約7.7 kg（16 ポンド 16 オンス）

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯（2.400 0 GHz ～ 2.483 5 GHz）

変調方式

GSFK

ご注意

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 製品に同梱されている「使用上のご注意／仕様・保証書」には上記以外の仕様情報も記載されている場合がありますのでご覧ください。

TP1001686289

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

対応する音声フォーマット

対応している音声フォーマットは、端子によって異なります。次の表で「○」の場合はその音声フォーマットに対応しています。「-」の場合はその音声フォーマットは非対応です。

フォーマット	HDMI出力 (eARC)	HDMI出力 (ARC)	光デジタル
LPCM 2ch	○	○	○
LPCM 5.1ch	○	-	-
LPCM 7.1ch	○	-	-
Dolby Digital	○	○	○
Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Digital Plus	○	○	-
Dolby Atmos	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	○	-	-
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	○	○	-
DTS	○	○	○
DTS-ES Discrete 6.1、DTS-ES Matrix 6.1	○	○	○
DTS 96/24	○	○	○
DTS-HD High Resolution Audio	○	-	-
DTS-HD Master Audio	○	-	-
DTS:X	○	-	-
MPEG-2 AAC*	○	○	○
MPEG-4 AAC*	○	○	○

* 一部の国や地域では対応しておりません。

TP1001683851

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

商標について

BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

HDMI®、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

“BRAVIA”（ブラビア）および“BRAVIA Link”（ブラビアリンク）は、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

“PlayStation”は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。



TP1001683854

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/ht/sl/25/>

本製品に含まれるソフトウェアには、GPL/LGPL およびソースコードの提供を伴うその他のライセンス条件のもとでライセンスされたソフトウェアが含まれています。GPL/LGPL 等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご要望を頂いた場合に限りさせていただきます。

<https://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

Dolby, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2024 Dolby Laboratories. All rights reserved.

For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, DTS:X, and the DTS:X logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェア（オペレーションシステム含む）には、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了したり、内容が変更されたり、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

TP1001686288

サウンドバー

BRAVIA Theatre Bar 6

ご注意

使用上のご注意

- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 長時間使用しない場合はコンセントから電源コードを抜いてください。電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが傷んだ場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

取り扱いについて

- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、本機自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設置してください。
- 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近くには置かないでください。

本機のお手入れのしかた

- 下記のお手入れをしていただくことにより、より長く快適にご使用いただけます。
 - － 本機は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH無線技術は、スマートフォンやパソコンなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。通信有効範囲は障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって変動します。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - － 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - － 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - － 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

その他のご注意

- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機の通風孔をふさぐと、内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。通風孔を絶対にふさがないでください。
- スピーカーユニットの開口部から異物を入れないでください。
- 水がかからないようご注意ください。本機および付属品は防水仕様ではありません。
- もしも水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- ほかに疑問点や問題点がある場合は、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

関連項目

- [困ったときにすること](#)
- [サポートページで調べる](#)

TP1001686287

5-064-210-01(2) Copyright 2025 Sony Corporation